

大栄西瓜組合協議会設立 50 周年記念大会

本日は、亀井鳥取県副知事ほか、多くの来賓の皆さまご臨席のもと、大栄西瓜組合協議会設立 50 周年記念大会がこのように盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

また、先ほどは、協議会の発展のためにご尽力をいただいた皆さまへの表彰がございました。受賞されました皆さま、誠におめでとうございました。これまでのご功績に対し、敬意を表するとともに、どうぞ、これからも大栄西瓜組合協議会の発展のため、ご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

そして、本日はこれまでの協議会の会長さんや役員を歴任された皆さま、生産者の皆さま、そして、取引会社、取引市場関係者にもおいていただいております。まさしく、この 50 年間、協議会を支え、そして発展させてこられた皆さまであります。感謝申し上げます。

さて、本協議会は、昭和 48 年（1973 年）に当初「西瓜組合長協議会」という形で設立され、その後、現在の「大栄西瓜組合協議会」に名称変更されました。

この間、大栄西瓜としても協議会としても私の印象に残っているものとして、平成 6 年度の西高尾ダムの完成、そして、畑かんの整備による通水。これにより、給水が楽になりました。そして、「世界スイカサミット in だいえい」の開催により、全国に世

界に PR できました。また西瓜統合選果場の完成で、どれだけ便利になったかでありま
す。これらは、協議会の皆さまが、どうしたら作業負担が減り、より美味しい西瓜が
作れ、売れ、少しでも生産面積を増やことができるかなど、常に前向きに向上心を持
って、挑んでこられた、その結果だと思えます。

その自ら動く精神は、現在も受け継がれております。担い手の確保のため、協議会
の中にサポート部を立ち上げられ、新規就農者を育成する制度を確立され、成果をあ
げられているところにもあります。

また、丹精込めて作った西瓜を盗まれたりしないように協議会が中心となって、ス
イカパトロール隊を結成し、作業でお疲れのところにも関わらず、盗難防止に努めて
こられ、成果をあげられているところです。

そして、令和の時代に入って、地理的表示 GI の登録にもご尽力いただきました。知
的財産として国に登録され、山協会長の言葉をお借りすると“超スーパーブランド”
として、その地位を確立されました。

また町の一大会事でもあります“すいか・ながいも健康マラソン大会”、今年は 6
月 18 日、4 年ぶりの現地開催となりますが、協議会にお世話になり、楽しみにしてい
る大栄西瓜の食べ放題などにより、成功させたいと思っています。

このような大栄西瓜組合協議会の活躍は、既に大会スローガンにあります 5 つの項
目を着々と達成されていると思えます。

今年は、選果場の再整備により、機能向上した機械で選果されることになります。

今から、期待でいっぱいあります。

生産者の皆さまにおかれましては、どうぞこれからも協議会に結集され、団結のもと、日本一美味しい大栄西瓜を作っていただきたいと思います。

そして、販売対策会議などで市場の皆さまと意見交換し、1円でも高く売れていくようお願いしています。

町としましても、皆さまの元気に負けないよう、意見を聞きながら、国、県、JAなど関係機関と連携し、大栄西瓜の発展のために取り組んでまいります。

大栄西瓜組合協議会が100年、200年と持続可能で益々、発展していくこと、そして本日までご参集の皆さまのご活躍を祈念し、お祝いのごあいさつとします。

令和5年5月10日

北栄町長 手嶋俊樹